

経営比較分析表（令和4年度決算）

三重県 紀宝町

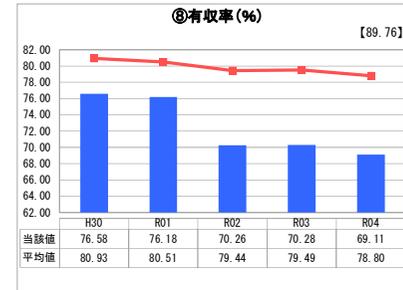
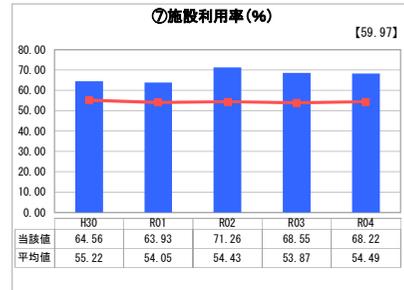
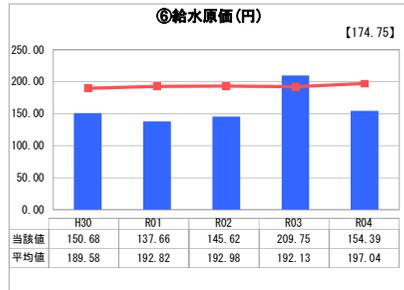
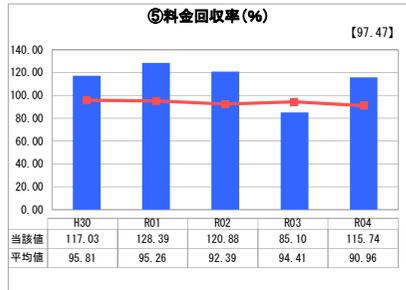
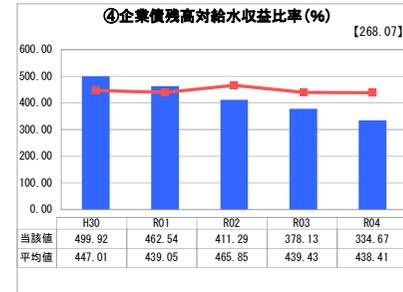
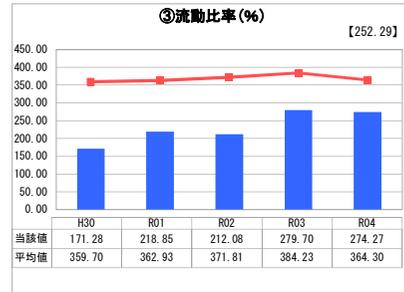
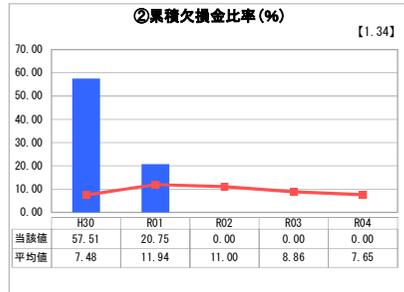
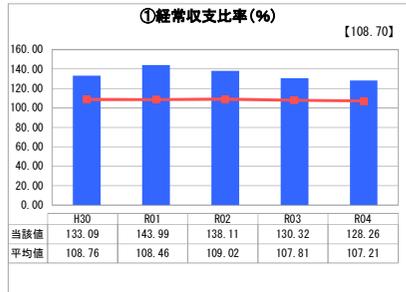
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	66.92	99.13	3,170	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
10,436	79.62	131.07
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
10,297	15.86	649.24

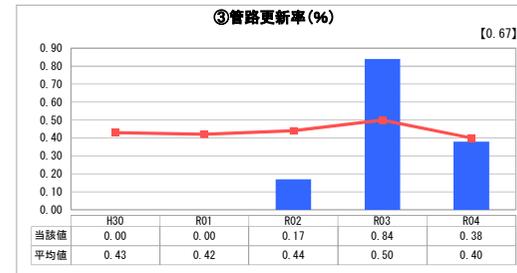
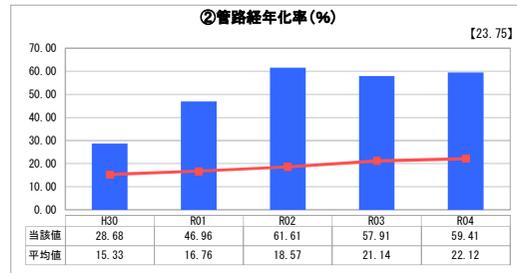
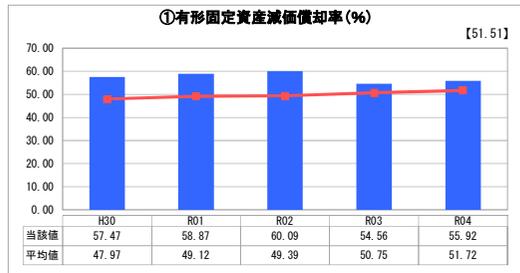
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度に料金改定を行ったこともあり、料金改定以降は経常収支比率は100%を上回っている。累積欠損金比率は年々減少し、令和2年度において欠損金は解消された。流動比率においては100%を上回っているが、類似団体と比べると平均値を下回っている。企業債残高対給水収益比率は少しずつ改善してきている。料金回収率は令和3年度に鉾田水管理橋修繕により費用が多かったため100%を下回ったが、令和4年度には100%を上回っている。施設利用率については、平均値を上回っているが、余裕があり問題はないと思われる。有収率は、昨年と比べ少し減少している。全国平均、類似団体と比べても低い状態であるため、有収率の向上に努めていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

令和4年度において有形固定資産減価償却率は微増している。減価償却率が高く、資産の老朽化が進んでいる状況であるが、施設を更新する財源の確保が難しい状況である。管路経年率においても微増しているが、管路も老朽化が進行しており、令和2年度に作成したアセットマネジメント（資産管理計画）を基に管路更新率の向上に努めていかなければならない。

全体総括

平成27年度に料金改定を行ったことにより、料金改定以降は経常収支比率は100%を上回っており、累積欠損金比率は年々減少し、令和2年度において、欠損金は解消された。今後とも費用の抑制及び収益の確保において改善を行い、有収率についても向上のため、効率的に管路更新や漏水修理を行っていく必要がある。創設から40年以上経過し、施設及び管路の老朽化が進んでいる。令和2年度に作成したアセットマネジメント（資産管理計画）を基に更新を進めていく予定である。